東京の身近な廃駅

都心の廃駅 シックス 6

～東京の廃駅の歴史～

発行者：津田遥志朗
発行日：2016年8月25日

博物館動物園駅

日暮里～上野間の京成線には、二つ廃駅がある。一つ目は、博物館動物園駅。この駅は、1917年に開業し、1997年に休止、1999年に廃止された。駅は国立博物館や上野動物園に近い場所だったが、上野駅から距離があったので客はあまりなく、設備の老朽化と4両編成の短いホームが重荷となり廃止された。日暮里間で電車の中から見られる地上の駅舎は国会議事堂のような形で写真上の他に、上野動物園の旧門跡の近くにも地上出入口が残っている。

寛永寺坂駅

日暮里

寛永寺坂駅

博物館動物園駅

上野

二つ目は、寛永寺坂駅。この駅は、1914年、大正3年に上野公園一現京成上野間の地下線を完成させた時、その入口付近に設けられた。名前の通り寛永寺のふもとにある。1941年太平洋戦争のため、営業休止となり、戦後、1947年には営業再開したが、下り線はあまり使われなかったため上り線はそのまま残っている。

京成線の二つの廃駅

使用期間八ヶ月!! 幻の新橋駅

1927年に東京地下鉄道が浅草～上野間を建設したものを、1934年、新橋～東京高速鉄道は、1939年に浅草～新橋間全線が開業した。当初東京地下鉄道は、品川方面への延伸を計画していたため、東京高速鉄道との乗り入れを拒否。地下鉄新橋駅に両社の駅が並立することになったしても乗りかえが不便だったので、内務省の調停で両鉄道の乗り入れが開始された。その結果、東京高速鉄道の新橋駅は、八ヶ月しか使われずに閉鎖となった。(同年九月)その駅舎は今の新橋駅となっている。

現在の地下鉄銀座線新橋駅のプラットホーム

新橋駅に現存する幻のプラットホーム

虎ノ門駅

東京高速鉄道 旧新橋停車場

現在の地下鉄銀座線

銀座

今も残る万世橋駅

万世橋駅が開業したのは1912年だ。開業当時は赤煉瓦の立派な駅舎で、今はしらべられないくらいにぎわっていた。しかし、1923年の関東大震災により駅舎を焼失。基礎は踏襲されたが、あっさりした作りになった。1936年鉄道博物館が併設され、二代目駅舎も取り壊し。基礎(連絡)が作られた。これが交通博物館だ。戦時中の1943年に廃止となった。廃止後もプラットホームの遺構は残り、そこに至る階段二ヶ所も当時のまま残っている。

今や博物館!? 汐留駅

1872年10月に日本初の鉄道として、開業した新橋駅(初代)が東京のターミナル駅として機能していたのは、1914年9月には当駅と横浜駅を結ぶ東海道本線の始まりだった。また、1909年に汐留駅(二代目)と改称され、同時に貨物駅として再利用された。1923年9月1日に関東大震災により開業当時から駅舎を焼失。その後、1924年に小荷物取扱を開始した。1986年に貨物駅としての役目を終えた。当駅は廃止され今は博物館となっている。

博物館(現在)

昔のプラットホーム(一部現存)

天皇が使用 日本唯一の宮廷ホーム!!

原宿宮廷ホームは、大正天皇の即位の礼に際して1915年11月に完成した。大正天皇在位中に乗降できるよう作られたが、和天皇の時代には地方訪問などにも頻繁に使われた。現在の天皇陛下になって利用機会が減り、2000年5月を最後に、ダイヤが過密化した時合理化のため廃駅となった。天皇陛下の乗降口になったり、天皇陛下の乗降口になったりしたことも。

そして今後は、国ひんの使用されていない駅舎の活用方法への案内のように使用される可能性がある駅舎ホームは日本で唯一ここしかない!!

編集後記

ぼくはこの新聞を書いて東京にもたくさん廃駅があるんだなと思いました。特に中央線の都会のまんなかだけで二、三こもあることに気付きびっくりしました。また、たくさんの廃駅の歴史が分かりましたとても楽しかったので、次も新聞も書こうと思います。